

小松市 名誉市民

小松市名誉市民は、広く社会の進展・文化の興隆に貢献し、卓越した功績で郷土の誇りとして市民から尊敬されている方にお贈りしています。

問い合わせ 広報秘書課 ☎24・8000



吉田 美統 さん

本名 吉田 稔さん（高堂町）

陶芸家

- 国指定重要無形文化財釉裏金彩保持者
- 石川県指定無形文化財九谷焼技術保存会会員
- （公社）日本工芸会参与
- 日本陶芸美術協会顧問
- 石川県陶芸協会相談役
- 市美術作家協会顧問

主な経歴

- 平成4年 高松宮記念賞
- 平成7年 日本陶磁協会賞
- 平成13年 紫綬褒章、石川県文化功労賞
- 平成14年 小松市文化賞
- 平成18年 旭日小綬章



▲釉裏金彩更紗文 壺 2010年制作

「品良く」——理想への終わりなき探求

九谷焼の窯元「錦山窯」を出自とし、高校在学中から陶芸技法を習い、卒業後、19歳の若さで三代目を継いだ吉田さん。昭和47年に加藤士師萌さんの遺作展で繊細かつ洗練された作品に出会ったことをきっかけに、多くの作家が断念するほど至難の技法である「釉裏金彩」の会得を求め研究を重ねました。思い描く作品を創るため、使用する金箔やそれを切るために使用するハサミにも探求を重ね、唯一無二の革新的な技法を確立し、九谷焼のみならず伝統工芸の発展に大きく貢献されました。

金彩と地色との組み合わせから生まれる落ち着いた品格と美しさは、我が国の陶芸

界に清新の気を吹き込み、平成13年に重要無形文化財保持者に認定されました。認定後も技に改良を重ね、時代に合った新しいものを積み重ねていくことで九谷の伝統を創り上げておられます。また、（公社）日本工芸会参与や日本陶芸美術協会顧問などの要職を務めるとともに、紫綬褒章、旭日小綬章の受章、日本陶磁協会賞の受賞など、小松市のみならず日本の文化界の牽引者として高い評価を受けています。

90歳となった今も、新たな作品制作への意欲と「新しいものを創り出す、そんな人を増やしたい」という後継者育成への熱い想いを胸に、作陶を続けておられます。